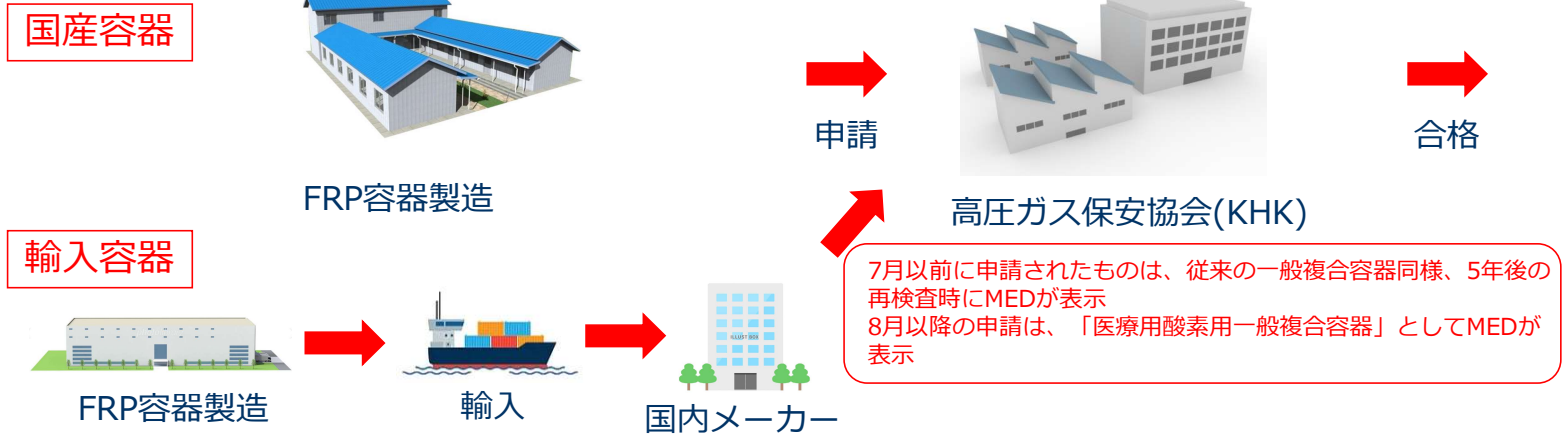


MED刻印に関する容器検査及び容器再検査の流れ

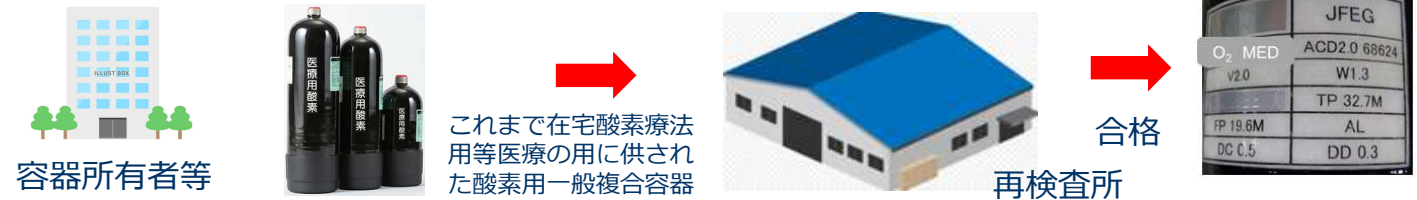
容器検査(新規に製造される容器(新品容器))



製造メーカー	国産/輸入	MEDが表示されている新規製造年月一例(参考)												
		3-22	4-22	5-22	6-22	7-22	8-22	9-22	10-22	11-22	12-22	01-23	02-23	03-23
旭製作所	国産	8-22~2-23の期間内で全機種(内容積)、対応予定					△	△	△	△	△	△	△	○
JFEコンテナ	国産						○	○	○	○	○	○	○	○
エスケイシリンダー	輸入		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
帝人エンジニアリング	輸入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

新品容器と再検査容器では、検査までの流れが異なります。特に、新品容器の場合、製造メーカーによってMEDの表示に対するタイミングが異なります。そのため、「8-22」の製造で、MED表示が無い容器であっても、KHKの容器検査を合格した容器ですので、これまでの酸素用一般複合容器同様、医療用酸素を供給して何ら問題はございません。

容器再検査(これまでに流通されており、再検査期限を迎えた容器(再検査容器))



需給状況に起因して製造年月が一部「2-23」のものまでMED表示が無い新規容器があります。容器番号「112C*****」の1.1L容器が相当しますので、ご参考下さい。

令和4年8月1日以降に再検査を合格した容器は、これまでの再検査年月の刻印に加え、MEDのアルミ刻印が貼付